



閉山後20有余年 いつ目を覚ますか

# 軍艦島

GUNKAN ISLAND

● 問い合わせ  
長崎市高島行政センター

〒851-1392  
長崎県長崎市高島町1728番地1  
TEL 095 (896) 3110  
FAX 095 (896) 2293

長崎県高島町端島

# 時代の鼓動が聞こえる

## HASHIMA

「軍艦島」とは、長崎港から南西約19Kmの海上に浮かぶ孤島「端島」の通称である。

1890年(明治23年)から三菱の経営によって主として八幡製鉄所に向け製鉄用原料炭を供給し、日本の近代化を支えてきた海底炭坑の島である。

当初、この島は、草木のない水成岩の崖にすぎなかったが、採掘技術の発達とともに、島の周辺を埋立てながら海岸堤防の拡張を繰り返し、今日の島の形状になった。

炭坑の開発と並んで従業員のための住宅の建設が盛んに行われ、1916年(大正5年)以降高層鉄筋アパートが、次々に建設された。

最盛期5,000人を超える人口を擁した高層鉄筋アパートが島内に林立して、さながら海の要塞の観を呈し、軍艦の「土佐」に似ているところから「軍艦島」として知られるようになった。

昭和30年代後半から、エネルギー改革の嵐を受け合理化が進み、1974年(昭和49年)1月15日閉山、同年4月20日に無人島となった。



◆1906年頃の端島

端島年表	
1810年 (文化7年)	端島で石炭発見。(高島では、1695年に石炭発見) 草木のない水成岩の崖にすぎなかった。
1870年 (明治3年)	天草の小山秀氏が、端島炭の開坑に着手。その後、深層領主黒島孫六郎等が経営した。
1887年 (明治20年)	黒島氏が、第1炭坑を開坑。(44mまで開さくし、明治30年坑内火災により閉鎖された。)
1890年 (明治23年)	三菱の経営となる。三菱が、黒島孫六郎より10万で買収し、高島の支店として明治24年から採炭を開始した。
1895年 (明治28年)	第2炭坑が開坑。(168mまで開さくし、1934年(昭和9年)に改修が完了。道幅616mに及び、閉山まで採掘した。)
1896年 (明治29年)	第3炭坑を開坑。(161mまで開さくし、1935年(昭和10年)まで採掘した。)
1916年 (大正5年)	日本最初の鉄筋高層アパート完成。
1925年 (大正14年)	第4炭坑が開坑。(353mまで開さくし、通常は、排気用として使用。第2炭坑に支障がある場合はその代用として使用され、閉山まで採掘した。)
1934年 (昭和9年)	端島小学校校舎が完成。
1941年 (昭和16年)	年間出炭最高記録41万1,100トン達成。
1945年 (昭和20年)	石炭積込中の白寿丸が魚雷を受け沈没する。
1955年 (昭和30年)	高浜村端島と高島町が合併し、高島町端島となる。
1965年 (昭和40年)	三ツ瀬新坑より出炭開始。(閉山まで採掘した。)
1974年 (昭和49年)	端島炭が閉山(1月15日)し、同年4月20日に無人島になり、現在に至る。
1991年 (平成3年)	台風19号により護岸が決壊(3カ所)したが、翌年復旧した。

### ●人口変動



### ●位置

端島は、長崎港から南西に約19Km、対岸の長崎半島から西へ約4.5Km、三菱石炭鉱業(株)の主力炭坑があった高島から南西に約4.5Kmの沖合に位置している。



### 30号アパート

1916年(大正5年)に建設された日本最初の高層鉄筋アパートであり、職員社宅として建設された。内庭には、吹き抜けの廊下と階段があり、地階には売店があった。この建物は、我が国最初のRC造高層アパートであるばかりでなく、構造技術史上でも大変貴重な遺構である。



### ●年次別出炭一覧表



## 『ひゅーりがんがん』知っていますか？

端島は、「緑なき島」として知られていたように、狭い面積の中に50棟あまりのアパートが立ち並び、水々を積載する空間がなかったため、島の人々は、アパートの屋上に土を運び、花や野菜を育てていた。台風が接近すると、高波が島を横断するため、島の西側は「潮降り街」と呼ばれ、欠航が続くと生鮮食品等が不足し、日常生活に支障をきたすことが度々あった。

また、小中学校の児童生徒が、雨の日に通学する時は、林立しているアパートが通り廊下でつながっていたので、傘をささずに学校へたどり着くことができた。

主な娯楽施設としては、映画館(昭和館)、パチンコ店等があり、人々の心を和ませた。

電気は、当初、端島の自家発電で供給されていたが、人口の増加等に伴い電力不足が生じ、1918年(大正7年)に高島からの海底ケーブルが敷設され、高島からも送電されるようになった。

なお、端島製鉄所は、高島からの予備ケーブルの敷設後1920年(大正9年)に廃止された。

飲料水は、当初、給水船により運ばれていたが、1957年(昭和32年)の海底送水管の完成により、対岸の三和町より送水されるようになった。1974年(昭和49年)に無人島になったため、閉鎖は中止された。島の人々の社宅の家賃や公衆浴場(各家庭には、風呂はなかった。)の入浴料は無料であり、現代では考えられない待遇であった。ところで、「ひゅーりがんがん」とは、端島で生まれたことばで、「閉ぐるま」という意味で使われていたそうです。



# ● 端島の現況



- 職員社宅
- 鉱員社宅
- その他建物

面積 63,000m<sup>2</sup>  
 周囲 1,200m  
 東西 160m  
 南北 480m

# ● 端島の拡張図



- 1893年(明治26年)以前
- 1899年(明治32年)拡張
- 1901年(明治34年)拡張
- 1897年(明治30年)拡張
- 1900年(明治33年)拡張
- 1907年(明治40年)拡張
- 1931年(昭和6年)拡張

# ● 建物一覧表

建物名	建設年代	構造・階数	住居戸数	建設用途	建物名	建設年代	構造・階数	住居戸数	建設用途
1号	1936年(昭和11)	木造1階	—	神社	26号	1966年(昭和41)	プレハブ2階	8	下請従業員住宅
2号	1950年(昭和25)	RC造3階	9	職員社宅	30号	1916年(大正5)	RC造7階	140	旧鉱員社宅(下請社宅)
3号	1959年(昭和34)	RC造4階	20	職員社宅(幹部用・風呂付)	31号	1957年(昭和32)	RC造6階	51	地下共同浴場・郵便局(1階)・鉱員社宅
5号	1950年(昭和25)	木造2階	1	鉱長住宅	39号	1964年(昭和39)	RC造3階	—	公民館
6号	1936年(昭和11)	木造2階	—	職員単身寮	48号	1955年(昭和30)	RC造5階	20	鉱員社宅(地階パチンコ店等)
7号	1953年(昭和28)	木造2階	—	職員クラブハウス	50号	1927年(昭和2)	鉄骨2階	—	映画館(昭和館)
8号	1919年(大正8)	RC・木造3階	4	共同浴場(1階)・職員社宅	51号	1961年(昭和36)	RC造8階	40	鉱員社宅
12号	1925年以前(大正14)	木造3階	3	職員社宅	56号	1939年(昭和14)	RC造3階	6	職員社宅
13号	1967年(昭和42)	RC造4階	12	町営住宅(教職員用)	57号	1939年(昭和14)	RC造4階	8	商店(1階)・鉱員社宅
14号	1941年(昭和16)	RC造5階	15	職員社宅(中央住宅)	59号	1953年(昭和28)	RC造5階	17	地下購買会・鉱員社宅
16号	1918年(大正7)	RC造9階	66	鉱員社宅	60号	1953年(昭和28)	RC造5階	17	地下購買会・鉱員社宅
17号	1918年(大正7)	RC造9階	54	鉱員社宅	61号	1953年(昭和28)	RC造5階	17	共同浴場(地階)・鉱員社宅
18号	1918年(大正7)	RC造9階	50	鉱員社宅	65号	1945年(昭和20)	RC造9階	317	鉱員社宅・屋上幼稚園
19号	1918年(大正7)	RC造9階	45	鉱員社宅	66号	1940年(昭和15)	RC造4階	—	鉱員合宿(啓明寮)
20号	1918年(大正7)	RC造7階	26	鉱員社宅	67号	1950年(昭和25)	RC造4階	48	鉱員合宿(単身寮)
21号	1954年(昭和29)	RC造5階	15	警察派出所(1階)・鉱員社宅	68号	1958年(昭和33)	RC造2階	—	隔離病棟
22号	1953年(昭和28)	RC造5階	12	老人ホーム(1階)・診療(2階)町営住宅(公務員)カモメ荘	69号	1958年(昭和33)	RC造4階	—	端島病院
23号	1921年(大正10)	木造2階	6	社宅(1階)・寺院(2階)・泉福寺	70号	1953年(昭和28)	RC造7階	—	端島小中学校
25号	1931年(昭和6)	RC造5階	6	宿舎所(1~2階)・職員社宅	71号	1970年(昭和45)	RC造2階	—	体育館